



## 令和5年度 杉並区教育調査の報告

副校長 小瀧 隆雄

### 杉並区教育調査の報告

昨年に引き続き「教育調査アンケート」は、Forms によるインターネット回答となりました。保護者の回答率は昨年の40%から50%と若干上がりました。下記は、調査の肯定率（「とてもそう思う」「ややそう思う」の割合）です。

(数字は回答者数)

No	質問内容	5 とても そう思う	4 やや そう思う	3 どちら ともい えない	2 あまり 思わな い	1 まっ たく思 わない	回答不 能	肯定率
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている	54	100	65	9	1	4	66%
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている	66	91	57	12	3	4	67%
3	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる	21	66	80	40	14	12	37%
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	55	95	58	20	4	1	64%
5	連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている	25	86	74	20	13	15	48%
6	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	61	83	50	21	14	4	62%
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	37	78	87	16	6	9	49%
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	41	56	87	24	9	16	42%
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	58	100	51	20	2	2	68%
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	92	95	27	14	4	1	80%
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている	53	69	77	22	6	6	52%
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	40	52	78	27	7	29	39%
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	22	38	78	29	14	52	26%
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる	96	78	36	19	2	2	75%
15	学校は、児童と幼児の交流、保護者への理解啓発等、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を意識した取組を積極的に行っている	26	67	79	32	7	22	40%
16	子どもは、通級指導教室・特別支援教室で学ぶことによって、学校生活全般への参加がしやすくなっている	9	3	0	0	0	0	100%
17	学校は、特別支援教育の現状や上級学校又は社会人の生活など、障害者に関する様々な情報を、保護者会や個人面談、進路説明会などの機会をおして提供している	6	4	2	0	0	0	83%

○昨年と項目が異なり比較はできませんが、この評価を真摯に受け止め、これまで継続してきた井荻小の学校教育を継承していきます。

○「16、17 特別支援教室」「14 学校生活の満足度」「10 学校のオンライン化」は7割以上の肯定率の評価をいただきました。残りの子供たちは何らかの思いをご家庭で口にしていただいているかと思えます。子供たちや保護者の皆様の声をしっかりと聴き、対応していきたいと考えています。

○「13 特別支援学校等との交流」では、26%と肯定評価が低くなりました。コロナ禍が明け、支援学校との直接交流も実施していますが、交流可能な児童・家庭が限られているため、特定のクラスしか実施していません。個々の計画が学校だよりの掲載に間に合わないため、お知らせできなかった現状もあります。今後は、どのような取り組みがあったかも、適宜学校だより等でお知らせいたします。

○「3 人権教育」も37%と肯定率が低調でした。授業や学校生活全般にて指導しているところですが、具体的な取り組みをお知らせできるようにしていきます。

○「12 教育相談」も39%の肯定率でした。スクールカウンセラーが週1回程度勤務し誰でも相談できるようになっていますので、ぜひご利用ください。数値が伸びなかった背景には、教員は児童の悩みや思いに対してもっと細やかに対応してほしいという思いの表れと捉えました。今後は、「安心して相談できる」と思ってもらえるよう努めてまいります。

# 2月行事予定

1	木	新1年生保護者会 4時間授業
2	金	安全指導
3	土	土曜クラブ (井草囃子・囲碁・テニス)
4	日	
5	月	全校朝会 委員会活動
6	火	SC
7	水	4時間授業
8	木	B時程 感謝集会 5時間授業
9	金	特別時程 井荻小研究発表会
10	土	土曜クラブ (お箏・生け花)
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	読書旬間始 SC
14	水	校内書写展始
15	木	社会科見学 (6年) 糸車体験 (1年)
16	金	たてわり班活動
17	土	土曜授業 犬とのふれあい (2年) CS CS (学校運営協議会)
18	日	
19	月	全校朝会 クラブ活動
20	火	校内書写展終 校内野鳥観察 (3年) SC
21	水	読み聞かせ 点字体験 (4年)
22	木	B時程 読書旬間終 5時間授業
23	金	天皇誕生日
24	土	土曜クラブ (井草囃子)
25	日	
26	月	全校朝会 5時間授業
27	火	ピノキオ保育園・井荻保育園来校 SC
28	水	
29	木	6年生を送る会

スクールカウンセラー来校日・・・SC

学校運営協議会…CS

※2月は予告なしの避難訓練があります。

学校運営協議会は、原則公開制となっています。ただし議題の内容により、一部のみ公開とする場合もございますので、傍聴をご希望の場合は事前に傍聴希望の旨をお知らせください。  
【連絡先：副校長 小瀧 3390-3141】

## 2月の生活目標

「あたたかい言葉を使おう」

生活指導部 中野 眞美

保健室の手当の中で、友達同士の言葉の足りなさや言い過ぎからくるトラブルが多くあります。言葉には思っている以上に力があり、何気なく言われた言葉、言った言葉が自分や相手に大きな影響を及ぼします。また、顔の表情や視線、声のトーン、身振り手振りといった言葉以外の「非言語的」な部分も大切になります。

あたたかい言葉は、「ありがとう、助かったよ、いいね、すてきだね、がんばったね、大丈夫？どうしたの？ごめんね」などです。相手の気持ちを理解し、自分の言葉を相手がどう感じ受け取るかを想像すること、その上で相手の気持ちに寄り添うあたたかい言葉を考え、伝えようとすることは心(脳)をたくさん働かせています。

“優しく、心地よく、あたたかい言葉”をたくさん使い、穏やかな毎日を過ごしていけたらいいと思います。

## 校内書写展

○期間 2月14日(水)～2月20日(火)

○場所 各教室前廊下

子供たちの作品を一堂に展示する「校内書写展」を開催いたします。1、2年生は硬筆の作品、3年生以上は毛筆の作品です。3学期の初めに清書したものを展示します。2月17日

(土)土曜授業の学校公開で来校した際に、ご覧ください。

教室改修工事の為、いおぎ教室は新校舎1階へ移設しました。



マスコットキャラクター

「イオギン」